

【ご報告】要望書提出について

2024年12月4日(水)

福井市役所を訪問し「要望書」を西行市長に手渡しました。

訪問は福井市野球連盟から奥島会長、大栗理事、山内理事、監督会から林監督、小谷監督、築田監督が同行、昨今の学童野球を取り巻く環境を説明し今後の要望についてお願いしました。

市長からは前向きに検討していくとのことのお答えいただきました。



提出した要望書は次の通りです。

福井市長 西行 茂様

要望書

令和6年

福井市野球連盟 会長



日頃、福井市におけるスポーツ振興、特に当連盟の行う事業活動に対して多大なるご理解をいただいておりますことに、感謝を申し上げます。

さて、当連盟では、学童野球を通じた子供たちの心身の成長を目指して活動しておりますが、昨今は福井市内でも学童スポーツ（野球）を取り巻く環境は年々厳しくなっております。子供たちがスポーツに参加することで一人ぼっちにならないようにすること、そして子供たちが安全にスポーツを楽しめるようにすることは重要と考えます。

そこで、福井市における学童（小学生）のスポーツ振興を推し進めるために、当連盟より以下の通りのご要望を申し上げます。学童野球が置かれている状況を十分ご理解いただきまして、ぜひとも実現に向けてご検討くださいますよう、お願い申し上げます。

1 スポーツ少年団の活用、充実に向けた方策

(要望) 福井市からスポーツ少年団への助成（金銭面・環境面）の実施

(説明)

スポーツ少年団では、相応の指導者講習を受けた指導者の確保や、競技の枠組みを超えた交流・スポーツ体験活動など、子供たちの健全な心身の成長に資する仕組みを採っております。

そのため、他市町ではスポーツ少年団の活動を助成するため、県大会以上の大会出場の際のお祝い金（激励金）、スポーツ少年団会費や保険費用の補助、練習場所の優先確保などの施策が実施されています。

他市町と比べて、福井市からの助成は少ないため、スポーツ少年団活動を行うにあたっては十分とは言えません。

この結果、福井市のスポーツ少年団加入チームは他市町のチームより負担が重く、その一方でその会費負担に見合うだけの目に見えたメリットも少なく、スポーツ少年団加入チームは年々減少しています。これにより、上記のようなスポーツ少年団の意義が年々減退してしまい、子供たちのスポーツ環境が悪化していくことに繋がりがかねない事態となっております。

このような傾向に歯止めをかけ、子供たちのスポーツ環境を改善するため、スポーツ少年団への助成、例えば前記の通りの金銭的支援や、グラウンドなどの優先使用などの環境的支援を実施していただきたいと考えております。

2 学童専用の野球グラウンド、室内練習場の整備

(要望) 学童専用の野球グラウンドと、野球用室内練習場の整備

具体的には、利用実績の少ないソフトボール場の学童野球グラウンドへの転用や、その売却により得た収入を原資としてのグラウンド・室内練習場の新設、福井市営のグラウンドの学童の優先的使用、美山アンデパンダン広場の駐車場拡大、グラウンドの整備、休廃校になった学校や移転となった旧学校のグラウンド・体育館の学童野球用としての活用。

(説明)

特に大会実施の際において、多数の参加者・運営関係者・観戦者などが来場できるような適切な設備（駐車場などを含む）の整った会場がほとんど無いのが実態となっております。

近年では、美山アンデパンダン広場、江尻グラウンド、北前グラウンド及び各小学校のグラウンドなどを大会会場として使用してきました。

しかし、従来から長年にわたって学童野球のグラウンドとして使用されてきた上記のグラウンドでさえ、近隣住民などからの苦情（騒音・駐車）によって使用不可もしくは使用困難な事態になってきております（例えば、北前グラウンドは、近隣より騒音の苦情があり、福井市公園課より使用を制限されている状況ですし、美山アンデパンダン広場は駐車場の収容能力、グラウンド状況の点から、試合数を限定せざるを得ず、せっかくのグラウンド面を活用しきれない状況となっております。）

フェニックススタジアム及びそのサブグラウンドが優先的に使用できればこうした問題は相当程度克服できますが、学童野球の優先順位が低く設定されているため、なかなか学童野球大会の会場として使用できないという状況です。

このような状況ゆえに大会の試合日程と会場がなかなか準備できず、開会式の実施さえ困難であったり、雨天順延でもあれば順延後の試合会場の確保にさらに難渋したりするような事態となっております。

一方で、かつて多数のグラウンドが整備された頃と比べて格段に競技人口が減ったことや、福井市スポーツ公園に立派な専用グラウンドが整備されたことなどを受け、市内の多くのソフトボール場は、土曜はおろか日曜祝日でも十分に活用されていない状況です。

こうした現況を根本的に改善するために、以前のように活用されていないソフトボール場を学童野球専用グラウンドに転用したり、これを売却した費用をもって学童野球専用グラウンドを新設したりといった方策をご検討いただきたく存じます。

また、福井市の室内体育館は、野球軟式ボールの使用さえ禁止されているため、冬期・雨天時などの野球の練習場所の確保や、プロ野球選手を迎えての野球教室などの啓発イベントの会場（雨天時でも対応できる会場）の確保ができないとの問題が生じています。この点、既存施設での野球軟式ボールの使用の解禁と合わせて、ぜひとも野球のできる室内練習場の整備をお願い申し上げます。

以上